

「世界難民の日」に写真展開催:AAR Japan モンベル渋谷店で6月19-21日

6月20日は「世界難民の日」です。AAR Japan [難民を助ける会] は6月19日（金）から21日（日）まで、モンベル渋谷店で、写真展「ここに生きる、いつもの日々 ～ザンビア・メヘバ難民居住地より」を開催します。

写真展は、アウトドア用品の株式会社モンベル（本社・大阪市西区）と、監視カメラの株式会社MIYOSHI（本社・埼玉県三芳町）の協賛で開催し、写真家・廣田比呂子さんが2026年5月にアフリカ南部・ザンビアのメヘバ難民居住地で撮影した作品を中心に展示します。

「世界難民の日」である6月20日（土）には、トークセッションを開催します。廣田さんが撮影した写真を見ながら、難民居住地の様子や撮影時のエピソード、そして「難民居住地に暮らす人々が見ている世界」について語ります。



ザンビア・メヘバ難民居住地に暮らす家族（2026年5月、廣田比呂子撮影）

写真展では、被写体に寄り添って撮影する廣田さんが、難民居住地に暮らす人々のまなざしや日常を写し出した作品をご紹介します。あわせて、難民居住地に暮らす人々自身が「写ルンです」で撮影した写真も展示します。

「難民」という言葉から思い浮かべる重苦しさや悲惨さだけではなく、一人ひとりのいきいきとした表情や日々の暮らしに目を向けていただければ幸いです。また、AAR職員がアジアや中東などの難民支援の現場で撮影した写真も展示します。皆さまのご来場をお待ちしております。



「写ルンです」を構える子どもたち（2026年5月、廣田比呂子撮影）

世界難民の日 写真展「ここに生きる、いつもの日々 ～ザンビア・メヘバ難民居住地より」

[会期] 2026年6月19日（金）～21日（日） 午前10時30分～午後8時

「写真家・廣田比呂子 トークセッション」

6月20日（土）午後3時～午後4時

※定員：50名

（※事前お申込みの方を優先 お申込みはAAR Japan [Webサイト](#)よりお願いいたします。）

[会場] 東京都渋谷区宇田川町11-5 モンベル渋谷店 5階サロン [会場アクセス](#)

[入場料] 無料 ＊難民支援活動へのご寄付をお寄せください。

廣田比呂子 (Hiroko Hirota)

東京都出身。日本大学芸術学部放送学科卒業後、映像制作会社に勤務。2010年より写真家として活動始める。

[受賞歴]

Women Street Photographers 2026 Artist Residency Winner

APA AWARD 2021入選

[写真展]

2025年5月 「Serquyosh — 光あふれて —」 Monography東京

2024年8月～11月 「春を祝う — Celebration of Spring —」

ライカプロフェッショナルストア東京

2024年6月～7月 「ハロー！ナマステ！こんにちは」

FUJI FILM PHOTO SALON SPACE 3 東京

[写真集]

写真集「Serquyosh — 光あふれて —」(赤々舎)



Web

<https://www.hirokohirota.com/>

Instagram

[@hirokohirota](https://www.instagram.com/hirokohirota)

「世界難民の日」(World Refugee Day)： 難民の保護や支援に関する世界的な関心を高めることを目的に、2000年の国連総会で制定されました。困難に立ち向かう難民の人々を称える国際デーとして、世界各地でさまざまな催しが行われます。

特定非営利活動法人 難民を助ける会のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/9344

お問い合わせ

認定NPO法人 AAR Japan [難民を助ける会]

担当:八木 純二

TEL:03-5423-4511

e-mail:info@aarjapan.gr.jp